

【資料2】

---

## 加工食品物流に関する実証実験について

2019年12月13日

---

株式会社野村総合研究所  
コンサルティング事業本部

〒100-0004  
東京都千代田区大手町1-9-2  
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ

#### 4. 実証実験案

### 【小口多頻度・短いリードタイム配送の抑制】

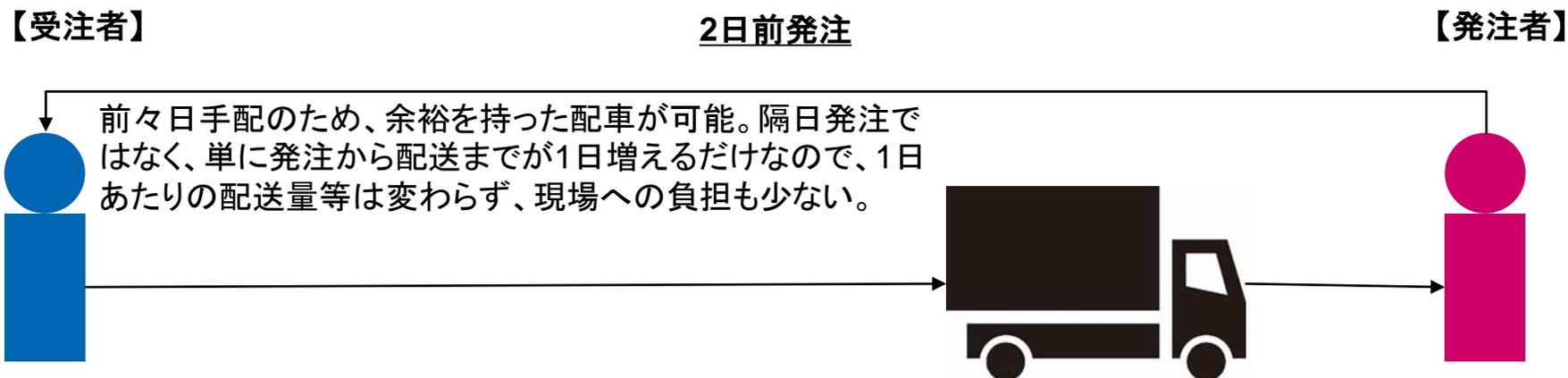
## リードタイムを1日延長することによる配車効率の向上

- 商品の発注翌日に配送を行うと、トラックの手配に手間がかかり、混載の場合には積載率が低いまま配送を行ったり、直前まで配車できるトラックが見つからず、指定の時間に間に合わなかったりすることもある。
- そのため、発注から配送までのタイムラグを1日延長し、配送頻度や1日の配送量は変えずに効率的な配送を行う。

Before



After



## 4. 実証実験案

# 【車両積載率の向上、小口多頻度・短いリードタイム配送の抑制】 発注回数(もしくは最低発注量)の削減による配車効率(積載率など)の向上

- 積載率が低い地方部や、中小メーカー品等においては、トラックの積載率が低いことも少なくない。
- 日持ちする加工食品等に関しては、発注を隔日にして、積載効率を上げることが可能である。
- その際、荷受側の繁閑を平準化するため、アイテムの種類によって荷受する曜日を決めるといった工夫が必要となる。

### 発注ロットの拡大/発注頻度の引下げ

発注1回あたりの数量：発注ロットを大きくし、発注頻度(=納品頻度)を少なくすることが有効です。

### ポイント

- 毎日発注を見直し、発注日を集約する
- 少量発注を見直し、最低発注ロットを引き上げる

### 取組事例 発注日の集約

<改善前>

	月	火	水	木	金	土	日
加食・菓子	●	●	●	●	●	●	●
酒類	●	●	●	●	●	●	●



<改善後>

	月	火	水	木	金	土	日
加食・菓子	●		●		●	●	
酒類		●		●		●	●

## 4. 実証実験案

### 【荷姿の標準化】

### パレット化による荷役時間の削減

- インスタントラーメン等、軽くて単価の低い商品や、ロットが大量にまとまらない中小メーカーの商品等で依然としてパレットを利用しない積荷も少なくない。
- これらをパレット化するだけでも、大幅な荷役時間の短縮化に繋がると考えられる。

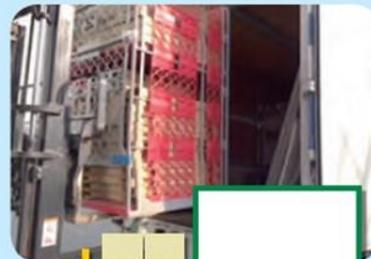
#### Before



付属品のバラ積みイメージ

#### After

幕板など付属品のアイテム数が多く、積み込みに時間がかかっているため、バラ積みからパレット積みによる輸送を実施



平パレット・ロールボックス  
パレットによる荷揃え

フォークリフトによる積み込み